

# K O A G A R I

使い手に応じて変応し、多種多様な「住」を繋ぐ



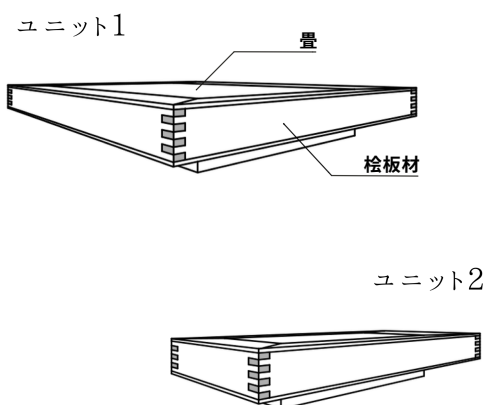
## 変応

H E N O

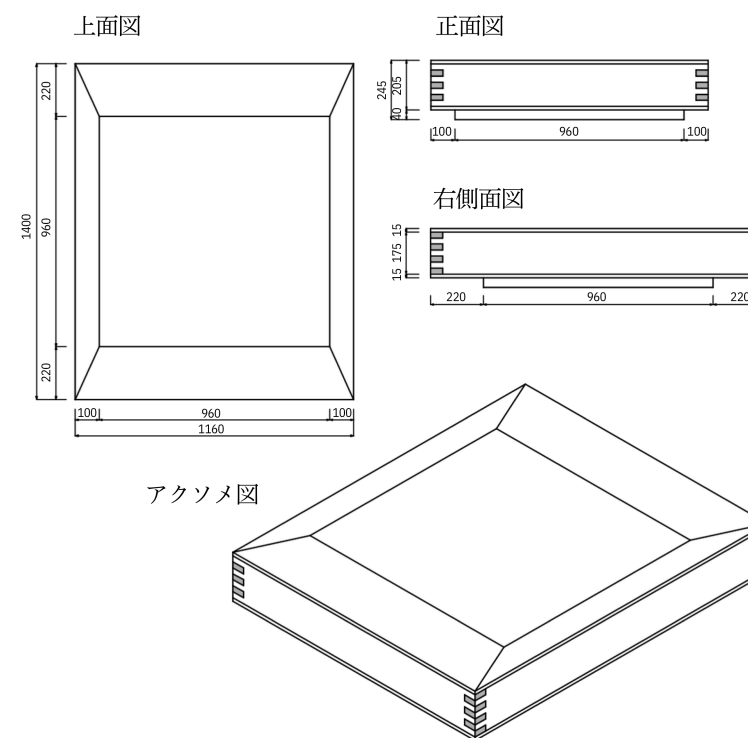
刻々と変化する時代の中で形や表現方法を工夫しながら日常生活の中に適応してゆく。そのような概念が、調和や自然との共生を重要視する「和」の中に含まれていると考える。この日本人の心意気を象徴するような概念を私は「変応」と名付けた。この「変応」を活用し、日本各地の外国人観光客の多い旅館やホテルなどで利用者に合わせてベッド、小上がり、ローテーブルなど様々な形状に変化することで、多様な空間を構築することのできるインテリアを目指した。

## PLAN

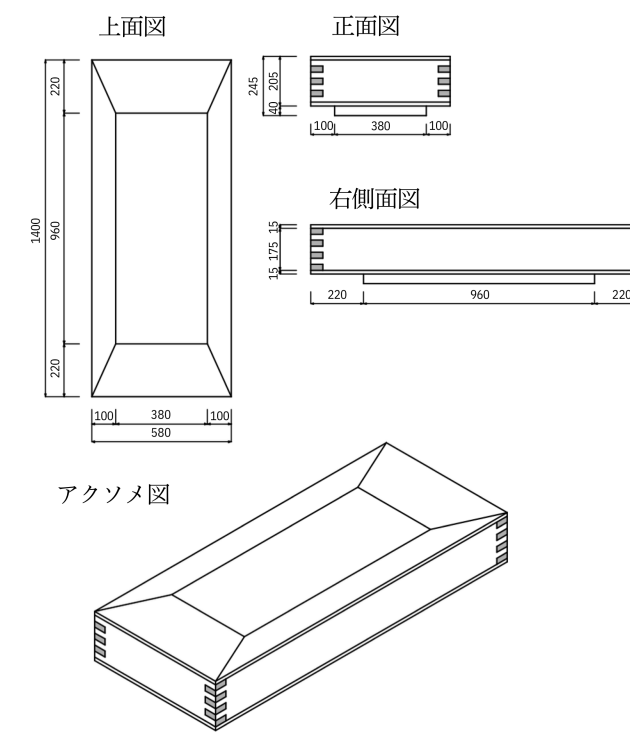
用途に合わせて柔軟に形を変えていくことができるように2つの異なる大きさのユニットを設計した。ユニット2についてはユニット1の半分の大きさになるように設計した。これらのユニットを組み合わせることで使い手に合わせて様々な形状に変化することが可能になる。



### ユニット1



### ユニット2



ユニット1とユニット2を多数組み合わせることにより様々な空間に対応する小上がりとして機能する。



ユニット1を重ねることで高さ450mmのローテーブルとして機能する。(ユニット1の畳の面は天板に変更可能)



ユニット2をユニット1の上部に縦に積み上げ、クッションなどを用いることでロータイプのソファとして機能する。



畳ははめ込み式であり表面が畳、裏面が天板となっている。また板敷きにすることで板間の小上がりとしても機能する。